

学院の近況

江差高看は、創立27周年を迎えました



江差でも本格的な冬を迎え、寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も1年間、関係者の皆様には、講義や実習のほか、江差高看まつりなどにおいて、多大なご協力をいただき感謝申し上げます。引き続き、来年もよろしくお願いたします。さて、今年1年を振り返り、特に印象に残っているのは「猛暑」と「ヒグマ」です。本学院における暑さ対策については、今年6月、各教室にスポットクーラーを設置しましたが、効果が限定的であったことから、来夏に向けて更なる対策が必要であると考えています。また、ヒグマ対策については、注意報の発令等を踏まえ、寮生を対象に買物支援（公用車で近隣のスーパーやコンビニ等に送迎）を行ったほか、実習施設への移動にハイヤーを手配するなど、学生の安全確保に努めました。来年度以降もこのような状況が続くことが予想されますので、学生の健康や安全を第一に考えながら、学院運営を行ってまいります。3年生は、いよいよ国家試験に向けてラストスパートです。冬期休暇中の実家等での過ごし方が大変重要になりますので、ご家族の皆様のサポートをよろしくお願いいたします。本学院としても、3年生の皆さんが健康に留意しながら勉強に励み、持てる力を存分に発揮できるように、職員一丸となりサポートしていきます。（学院長：夕下 司）

令和7年度「ほめ活」

みんな
素晴らしい！

江差高看独自の取組である「ほめ活」は、4年目を迎え、今年から年1回の実施としました。

11月7日～14日を「ほめ活ウィーク」に設定し、全学生15名と職員12名が参加しました。

「ほめカード（付箋）」に書かれたコメントを見ると、「自分の存在価値」や「周りには沢山の仲間がいる」ことなどを全学生が実感できたと思います。

12月18日の表彰式では、大賞や個人賞などで学生全員を表彰しましたが、職員から沢山のお菓子等の提供があったことから、全員に賞品を渡すことができました。

今後とも、学生及び職員がお互いの良いところを認めたりほめ合うことで、相互のコミュニケーションの活性化や自己肯定感の向上が図られるよう「ほめ活」を実施していきます。（学院長：夕下 司）



大賞と優秀賞のみなさん



ほめカード 268枚！

令和8年度 入学試験（一般Ⅱ期）のお知らせ

高卒予定者のほか社会人経験者（年齢制限なし）も対象とした入学試験です。多くの方々の受験をお待ちしています。

- 受付期間 令和8年2月17日（火）～3月11日（水）
- 試験日 令和8年3月18日（水）
- 試験科目 学科（作文）、面接（口頭試問を含む）
- 合格発表 令和8年3月19日（木）

詳細は募集要項で
ご確認ください



「人と生活を知る実習」 ～ 江差高看の魅力あるカリキュラム ～



1年生5名が、9月29日～10月16日に初めての实習を行いました。「地域でさまざまな暮らし方をしている人と接し『人が暮らす』ことへの理解を深める」ことを目的に、江差町・厚沢部町・奥尻町の役場や地域包括支援センター、学校、病院、高齢者施設などを訪れ、地域の特性や取組みについて説明を受けました。3町それぞれの地形や歴史による主な産業の違いを知り、人口動態による町の課題に共通点を見ることができました。この実習での一番の学びは「人と人とのつながりが町全体を支えている」と実感できたことでした。この一端を担えるように、自らも地域の一員であることを意識し、学生の学びを進めてまいります。《実習担当：中井史世》



「健康講話」 ～ スクールカウンセラーによる講演等 ～



11月11日に健康講話を開催しました。テーマは「ポジティブ・リフレーミング」で、スクールカウンセラーの諏訪先生に講師をしていただきました。自分の短所を他者にポジティブに捉え直してもらうワークや、自分が持っているもの、できることを伝え合うリソース探しを行いました。視点を変えて表現することで肯定的な感情になることを実感したり、仲間が持っている新たな側面を知ることができ、円滑な人間関係構築に繋がる体験ができました。グループワークは3学年混合で行ったので、他学年との交流ができたことで様々な意見を聞くことができ、視点の広がりや交流を深める機会にもなりました。《健康係担当：武田いずみ》



「江差高看 モルック大会」 ～ スポーツを通じた異学年・職員交流 ～



12月18日に学院のスポーツイベントとしてモルック大会を開催しました。1階ホールにコートを2面設置し、学生・職員混合で4名×6チームに分かれての対戦です。初めての開催であるため、上手くいか心配していましたが、みなさんモルックにすぐに慣れ、学生や職員ともに声を掛け合いながら楽しく参加していました。接戦した試合では、お互い応援し合いながら盛り上がっていました。普段とは違った形での異学年交流、そして学生と職員との交流を深めるよい機会になったと思います。《担当：高田伸一》



「道立江差病院でのクリスマス会」 ～ 学生自治会 活動報告 ～



入院中の患者さんに季節を感じ楽しんでいただきたいと考え、12月19日に江差病院にてクリスマス会を開催しました。1・2年生によるハンドベル演奏を2曲披露し、クリスマスカードの配付も行いました。演奏中、患者さんが一緒に歌ってくださり、温かく和やかな雰囲気で開催することができました。準備では、各学年それぞれ実習や技術練習で忙しい中、役割分担し連携を取り合いながら進めていきました。大変でしたが、笑顔で楽しまれている患者さんの様子を見て、開催してよかったと強く感じました。《学生自治会長：斉藤音々》



1年生

1年生は、只今、冬期休暇明けに行われる基礎看護学実習Ⅰの学習準備とクリスマス会の準備（江差病院を慰問するボランティア活動）に、毎日忙しく過ごしています。

先日、クラス目標について評価を行いましたので、その時の様子を一部お伝えします。

清拭の技術試験を振り返り、自分達の意識が方法論中心（手順）であったことに気づいたようです。改めて、対象にとって安全安楽な技術を習得することに意識を向けることができました。さらに、クラスメイトとの関わりにおいて“相手の立場になって考え言動する”難しさをクラス全員が感じていました。今後は、関わりの中で自分が相手に与えた影響や相手が置かれている状況・思いを想像（イメージ）することから始めることになりました。

以上のことから、1年生は順調に成長していると感じています。学内での学びが、基礎看護学実習Ⅰで色々なかたちで生かされることを願っています。実習での学びが一層深まることを楽しみにしています。

《1学年担当：臺坂恵子》



2年生

2年生は、成人老年看護学実習ⅠとⅡの間、11月17日（月）に看護方法Ⅶ「与薬と看護」の授業で、採血の演習を行いました。緊張しながらもまずは学生間で駆血帯を巻き血管をみます。

次に、安全で安楽に実施するために、患者さんへの説明と体調の観察を行いながら、モデル人形の血管から採血を行いました。採血、真空管の交換、患者さんへの説明、患者さんの観察、複数の技術が重なって、事前学習通りにできたり、できなかつたり体験したことを振り返り、一つ一つ成長しています。《2学年担当：金田いづみ》



3年生

6クールの領域実習を終え、看護管理や災害看護、臨床看護の実践などの「就職し看護師として働く」ことを踏まえた講義を終え、先日最後の実習である「統合実習」を終了しました。

進級してからこれまで、駆け抜けるような8ヶ月間だったと思います。冬休みは、国家試験合格に向けたラストスパートの時期となります。この期間をぜひ有効に活用して学習してほしいと思います。また、大勢の学生がいる中での受験を想定し、1月は札幌会場での模試受験を計画しています。冬の寒さもさることながら、インフルエンザなどの感染症も流行します。学習と体調管理を両立しつつ、頑張りたいと思います。輝かしい未来に向かって、教員も一丸となってサポートしていきますので、ご家族の方も引き続き学習・生活面のサポートをよろしくお願いいたします。《3学年担当：竹田里美》



「臨床看護の実践」
演習も佳境を迎えています



つかの間の息抜き
みんなでジブリカルタを行いました

■ 学院生活に関する学生アンケート（結果） ■

【実施期間】 R7. 7. 22～25 【回答数】 15人（回答率100%）

【1】 学院生活が充実しているか（楽しい、まあまあ楽しい）	13人（86%）				
【2】 自分自身に満足しているか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	12人（80%）				
【3】 自分が役に立っていると感じるか（そう思う、どちらかといえば思う）	12人（80%）				
【4】 今の自分が好きか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	12人（80%）				
【5】 教職員の対応で不快に感じたこと	なかった 14人 あった 1人				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学生の回答（不快に感じた内容）</th> <th>学院の対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 【時期等】 7月中旬、授業中 【内容】 演習でモデル人形ではなく男女で近距離でやらなくてはならなかったこと。 【相談】 していない。 【理由等】 言いにくい。当たり前だと言われそうだった。人と接するのは大事だが、演習時は同性とやった方が気を使わず集中できるし技術が向上すると思いました。 </td> <td> 看護技術習得場面での気持ちはわかりました。性別関係なく看護技術が実施できることが目標ですが、学習段階では可能な対応を行っていきたいと思います。また、不安なときは担当の教員に相談してください。 </td> </tr> </tbody> </table>		学生の回答（不快に感じた内容）	学院の対応	【時期等】 7月中旬、授業中 【内容】 演習でモデル人形ではなく男女で近距離でやらなくてはならなかったこと。 【相談】 していない。 【理由等】 言いにくい。当たり前だと言われそうだった。人と接するのは大事だが、演習時は同性とやった方が気を使わず集中できるし技術が向上すると思いました。	看護技術習得場面での気持ちはわかりました。性別関係なく看護技術が実施できることが目標ですが、学習段階では可能な対応を行っていきたいと思います。また、不安なときは担当の教員に相談してください。
学生の回答（不快に感じた内容）	学院の対応				
【時期等】 7月中旬、授業中 【内容】 演習でモデル人形ではなく男女で近距離でやらなくてはならなかったこと。 【相談】 していない。 【理由等】 言いにくい。当たり前だと言われそうだった。人と接するのは大事だが、演習時は同性とやった方が気を使わず集中できるし技術が向上すると思いました。	看護技術習得場面での気持ちはわかりました。性別関係なく看護技術が実施できることが目標ですが、学習段階では可能な対応を行っていきたいと思います。また、不安なときは担当の教員に相談してください。				
【6】 ハラスメント相談員を知っている	15人（100%）				

今年度も7月・2月に年2回実施する計画です。

7月実施の結果では、教職員の対応で不快に感じたことがあったと回答した学生が1人おりましたので、上記のとおり対応しています。

引き続き、適切な教育環境の確保に努めるとともに、学生の皆さんには、ハラスメントなどで不快に感じる場合があった場合は、目安箱の活用や相談員に相談するよう周知していきます。（学院長：夕下 司）

学院内で「あすなろパン」の販売を開始！【毎週水曜】

寮生への食事提供を主な目的として、9月17日（水）から「あすなろパン」の販売を開始しました。前週金曜に希望するパンを注文し、翌週水曜に受け取る仕組みです。

※約30種類から選ぶことができ、約半数は@100円と格安です。

※通学生も購入することができます。



スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学生生活をサポートします ～

- 日程 オンライン 1/22（木）、2/19（木） 16:30～18:00
対面相談 2/5（木） 14:30～17:30

●予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール sc.soudan@gmail.com

- ①氏名、②学年、③連絡先Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー
諏訪(すわ)先生

学院行事のお知らせ

◆学院閉庁日（年末年始） 12月27日（土）～1月4日（日）

◆学生始業 1月19日（月）

◆看護師国家試験 2月15日（日）

◆卒業式 3月3日（火）

◆令和8年度入学試験

1月13日（火） [一般Ⅰ期、社会人Ⅱ期]

3月18日（水） [一般Ⅱ期]